



議員活動通信

日田市議会議員

なかしま章二



令和8年第3回（9月）定例会



まず、7月補正（第2号）の専決処分議案は、本年6月24日からの大雨により被災した公共土木施設にかかる応急復旧費用等の専決処分を行いました。概要としては、市道104件、水路1件を見込んでいます。次に、9月補正（第3号）は、大雨による災害復旧費用をはじめ、大分県西部医療圏に必要な医療体制を確保するための費用追加などが含まれます。

補正予算編成について

令和8年度 7月補正予算概要

当初予算額	42,085,848 千円
現予算額	42,629,203 千円
今回の補正額（第2号）	114,215 千円
補正後の予算額	42,743,418 千円
（参考）令和7年度6月 補正後予算額 41,114,165 千円	

令和8年度 9月補正予算概要

当初予算額	42,085,848 千円
現予算額	42,743,418 千円
今回の補正額（第3号）	506,421 千円
補正後の予算額	43,249,839 千円
（参考）令和7年度9月 補正後予算額 42,487,638 千円	

教育福祉委員長報告

民生委員児童委員協議会補助事業

（90万一千円）

大分県民生委員関係の交付単価が増額されたことから、補助金の増額を行うものです。委員会からは、物価上昇を考慮した国・県の増額にあわせて、市の補助金も増額を検討するよう要望しました。

地域中核病院医療提供体制確保事業

（一億一千万一千円）

西部医療圏に必要な医療体制を確保するための事業です。済生会日田病院について、構造的赤字を補填し、中核的な役割機能の維持に必要な支援を日田市・玖珠町・九重町で行うものです。

※済生会日田病院は、地域中核病院として多くの診療科を有しています。救急医療の分野では、他院が対応できない重症患者を受け入れています。また、小児医療の分野では医療圏で唯一、小児専用病床を確保し、オンコル体制による小児救急体制を整えています。この体制を維持していく必要があることを4者協議（済生会・医師会・大分県・日田市）で確認しているとの説明がありました。

9月定例会 一般質問と答弁

日田市における教職員配置の課題と教育環境の充実について

【中島】 県の配当基準により、教職員が配置されていない学校があるが、学校運営及び教育活動への支障が出ていないのか伺う。

【教育長】

生徒数の減少により県の配置基準を満たしていない中学校2校には、教頭と養護教諭が配置されていない。

教頭の配置がないことで校長が教頭業務の多くを担うことになること、また、養護教諭の配置がないことで学校生活における児童生徒の疾病対応などを他の職員が行わなければならないことなどの懸念がある。

【中島】 配置基準は必要最低限の職員数だと考えるが、実際の業務量にあった配置と市教委は考えているのか伺う。

【教育長】

現在、大分県では必要最低限の配置基準に加え、さまざまな教育課題に対応するために加配という形で教職員の配置を行っている。

しかし、学校現場では、新たな教育改革のもと、「誰ひとり取り残さない教育」を実現するために、きめ細やかに対応すべきことも増えている。このため教職員数は、全体的な業務の量だけでなく、質の向上についても決して十分とは言えないと思っている。



【中島】 危機管理上の面からも教頭や養護教諭配置は不可欠と考える。県に対して強く加配を要望していく考えがあるのか伺う。

【教育長】

以前から再考を強く要望してきたところだが、今後、教頭については教頭業務もしくは管理職業務の補助を担う何らかの配置も合わせて要望していく。

養護教諭の配置については、事故やケガ等による緊急、不測の事態への対応など、児童生徒の安全管理の観点からも重要な役割を担う職種であるという考えに変わりはない。

県教委に対しては、市町村教育長協議会からも配置基準の要望を継続していくことが決定しており、現に配置のない学校が生じている日市からも教育委員会から強く要望していく。



中島の視点

画一的な「そろえる教育」から、一人ひとりの特性を活かした「伸ばす教育」へ変えていく新しい教育大綱。これに沿った学校教育へと変化していくためにも、“必要最低限の教職員配当基準を満たしているからよし”とするのではなく、県に対して日田市における学校の実態や現場の困りごとを訴え、学校教育をより良い形に改善していくことが喫緊の課題であると考えます。

9月定例会 一般質問と答弁

社会教育・公民館を核としたまちづくりについて

【中島】 本市の公民館の現状と役割について伺う

【教育次長】

これまで培ってきた地域との関係性を活かしながら地域の実情に応じた学習と活動を結びつけることで、まちづくりにつなげる地域の拠点施設としての役割を担うものと考えている。

【中島】 教育基本法、社会教育法に基づいた地域課題の解決の考え方について伺う

【教育次長】

住民一人ひとりが主体的に集まり、話し合い、地域の実情に応じた課題を学び合い、解決策を実践していくことで一過性ではなく継続的な課題解決に取り組むことが求められていると考える。その中で、人と人がつながり集うことで新たな発見や学びが生まれ、人の行動が変容していくことが社会教育として重要な部分であると認識している。

このように、社会教育を通じて地域住民が相互に学び合い、支え合う関係を構築することで地域全体の課題解決力が高まり、持続可能な地域社会の構築につながるものと考えている。

【中島】 単なる貸館施設ではなく、地区公民館には地域課題解決と住民自治を支える社会教育の拠点としての機能が必要だと考えるが、教育委員会の考えを伺う。

【教育次長】

平成30年の中央教育審議会の答申の中でも、公民館は一人ひとりの生涯にわたる学びを支援する役割に加え、地域活性化、まちづくりの拠点、地域の防災拠点などとしての役割も強く期待されるようになってきている。このため、住民参加による課題解決や地域づくりの担い手の育成に向けて、住民の学習と活動を支援する機能を一層強化することが求められるようになってきている。本市においても、このような考えで今後も取り組む必要があると考えている。



咸宜公民館

【中島】 日田市の地区公民館は、昭和30年代から地域に根ざした活動に取り組んできた。そのため本市では、公民館職員は単なる施設管理者ではなく、地域課題を把握して住民、学校、行政、各種団体をつなぐ役割が求められ、それを実践して今に至ります。本市には社会教育士という専門職もいることから、「地域に根ざした公民館」を拠点としたまちづくりができると考えるが、市長、教育長の考えを伺う。

【教育長】

公民館で活動を推進する公民館主事が、社会教育士として専門的な知識と経験を持って、あらゆる場所や機会において、学習活動と地域づくり活動を結びつけ、学びの成果を地域の実践につなげていくようなまちづくりの視点を持って取り組むことはますます期待されていると考える。

【市長】

公民館は現在も社会教育の拠点としてだけでなく、さまざまな地域活動の拠点として活用されている。他分野の地域住民の活動と連携して、学びを地域課題の解決につなげていただければ持続的なコミュニティを維持していく上で、大きく役立つと考えられる。

公民館には社会教育士などの専門職も配置されているので、公民館が地域づくりの拠点としての機能をより効果的に発揮できるよう教育委員会とも連携して取り組んでいく。

9月定例会 一般質問と答弁

日田市陸上競技場の第2種公認維持の必要性について

【中島】第2種公認競技場であることの効果と評価について伺う。

【文化スポーツ観光部長】

全国大会の標準記録突破につながる正式な記録を残せる大会が開催できることに加え、競技者が公式戦と同様の環境やモチベーションで練習に取り組むことができる。

【中島】スポーツツーリズムの観点から第2種公認を維持していく必要性について伺う。

【文化スポーツ観光部長】

本来第2種公認競技場は、全国規模や広域的な大会、あるいはトップチームの合宿等を誘致する上で大きな強みであると考えている。しかしながら、これまでそのメリットを十分に活かしきれていなかったことも事実であり、スポーツ合宿の誘致活動を強めていく必要があると考えている。

その上で、第2種公認競技場の必要性については今までの実績だけでなく、競技力向上やスポーツツーリズムにおけるポテンシャルを十分に勘案し、今後必要となる更新費用などの財政負担を見極めながら、本市にとって最も適した競技場のあり方を総合的に検証していく。

日田市陸上競技場



中島の視点

この第2種公認陸上競技場をこれまで有効活用できていないことは、日田市にとって大きな課題だと思います。市が主催する大会開催やスポーツツーリズムの視点に立ったアプローチを強めることが急務と考えます。また、第2種競技場は県内に2箇所しかありません。日田市の立地条件から見てもこの施設を維持することで、市民スポーツの振興だけでなく、競技大会の誘致、合宿の受入れ、公認競技大会の開催により交流人口の拡大に寄与すると考えます。

請願3件

今定例会では次の3件が提出されました。

① ひきこもり基本法の制定を求める意見書採択に関する請願

② 地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する請願

③ 非核三原則の堅持を求める意見書の提出を求める請願書

事前に行われた議会運営委員会では全件が採択されました。その後、閉会日に開かれた本会議において、議会運営委員長から採択が報告され、質疑・討論の後、採決が行われました。

①（ひきこもり）については、議会運営委員会では継続審査の意見が出され、賛成多数で採択されたのですが、本会議では「全会一致」となりました。

しかし、③（非核三原則）は、首相のあいさつや防衛大臣の会見で非核三原則を堅持する方針を表明しているため意見書を出す必要はないなどの反対意見から10対10の可否同数となり、議長裁決により「不採択」ととなりました。この3つの請願は、なんとしても採択としたかったのですが、残念です。

今回の一般質問では、「日田市における教職員配置の課題と教育環境の充実について」、「社会教育、公民館を核としたまちづくりについて」、「日田市陸上競技場の第2種公認維持の必要性について」の3項目を質問しました。

詳細は「なかしま章二ホームページ」<https://www.shodaykota.com/>



発行：日田市議会議員 中島 章二 【教育福祉委員会委員】

〒877-0006 大分県日田市港町 8-64 携帯電話 090-8412-9143

